

http://nakayashiki.net がんばろう日本！負けないで東北！



11/9 文教委員会 浦和高校視察

「龍」を干支とする平成24年が幕を開けました。しかし、未だ大震災からの復興も大きく進まず、なかなか被災地の皆さんの心に明るいうかが差し込む状況になりません。国の発表した「福島第一原発の冷温停止」についても、その判断や信憑性に疑問の声も上がっている状況です。

新たな年を迎えた今こそこの「国難」に対して国全体の力を結集し対処していかねばなりません。私も議員の立場からも、人としても頑張ります。皆さんも忘れずに注目し続けてください。

二〇一二始動 睦月に思う

埼玉県議会
刷新の会
鴻巣支部

なかやしき慎一

なかやしき慎一チャレンジ報告 討議資料

チャレンジ通信

発行所
刷新の会 鴻巣支部
県議会議員 中屋敦慎一
〒365-0039
鴻巣市東3-11-18-103号
TEL 048-541-8110
FAX 048-541-0256

2012
19号

12月定例議会 主な内容

12月定例県議会は、41億4千9百万円余りの一般会計補正予算を含む33の知事提出議案の内、現行の5か年計画「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」後の新5か年計画の策定を、議会内部に特別委員会を設置するために継続審査とした以外の議案と議員提出議案の埼玉県私立学校助成審議会条例を可決し12月22日に閉会しました。

今回の補正予算の特徴は、さいたま新都心への医療拠点の整備を推進するために、81A街区の土地の鑑定評価を行う事や災害医療体制の強化に向けて災害拠点病院に対して、衛星電話や応急医療資機材等の整備費用を新たに助成することなどがあげられます。また、その他の議案で特徴的な物は、「埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例」で、「ぐるっと埼玉サイクルネットワーク構想」を進める本県の自転車の安全な利用に關して、県、自転車利用者、事業者等の責務や施策の基本となる事項を定めています。



刷新の会 石田昇議員(川口市選出) 代表的な質問項目

県単位による自動車の燃費基準について
環境対策として、国では来年度をめどに乗用車の新たな燃費基準を2009年度の実績16.3キロ/Lから、2020年度までに20.3キロ/Lにすると決めました。そこで、県としても独自の燃費基準を設けて環境改善に取り組むべきと考えますが、環境部長のご所見を伺います。



環境部長答弁要旨

省工法による燃費基準は国の定めによるところで、各自動車メーカーは5年ごとに行われる改定基準に適合させるように燃費を改善することが義務付けられています。

燃費の向上については、自動車メーカーに対して国が一律に基準を定め技術開発を促す事が重要と考えます。

刷新の会 井上航議員(和光市選出) 代表的な質問項目

不活化ポリオワクチンについて
国のポリオ不活化ワクチンの導入を前に、生ワクチンの危険性を疑う声もある中で、埼玉県での生ワクチンの接種率は何パーセントだったか、また、前年度比どれくらい下落したのか?そして、現状輸入に頼らざるを得ない不活化ワクチンの輸入を県として進められないかお伺いします。



保健医療部長答弁要旨

本県でのポリオワクチンの接種率は、昨年度は95%以上でしたが、今年度は80%程度になると思われ接種率の低下が懸念されます。また、国が認可していない不活化ワクチンは個人輸入しか方法がなく、健康被害が生じた場合も国の補償対象になりません。現状、県独自の輸入や補助は考えていません。

「なかやしきの思う」
自動車の燃費対策などの環境対策は、厳しい基準を設けて他県にアピールする事も価値はあるが、定めをどう達成していくのか、具体的な手法を県独自で検討する事もまた重要だと思ふ。環境性能に優れた自動車導入への補助制度の推進など、消費者へのアプローチも検討課題だと思ふ。

「なかやしきの思う」
県では、昨年の11月に関東地方知事会を通じて、不活化ポリオワクチンの早期導入、定期予防接種を国に対して要望した。この事からも、不活化ポリオワクチンの必要性は明らかである。神奈川県のように独自の展開で輸入に踏み切った自治体もある。本県にも積極対応を望みたい。

視察レポート

埼玉県立 浦和高等学校
11月9日(水)
埼玉を代表する県立高校の雄、埼玉県立浦和高校を訪ねた。

もとより、県下にその名を轟かせ、高校生クイズの常連校としても、全国的にも知られている浦和高校、「尚文昌武」、文武両道を表すこの言葉を校是として、社会で活躍できる人材の育成を目指した教育を展開している。行程50kmの強歩大会を始めとする年間行事も全員参加が原則だ。

視察では、体育の授業も見学したが、私の鼻息もかもしない。またまたそのクラスがそうだったのかも知れないが、太りすぎの生徒は、いなければ、がりがりの未成年の生徒もいない。浦和高校の成功事例がすべての学校に当てはまるわけではなく、健康被害が生じないだろうか、他校も参考にしたいと思ふ。



最先端技術振興議員連盟

株式会社タナカ技研

11月24日(木)
(みどりが丘工場)

秩父郡小鹿野町のみどりが丘工業団地にある、株式会社タナカ技研を訪ねた。

1977年にタイアモンドカッターによる精密切断加工業を旨として設立されたタナカ技研は、現在では携帯電話やデジタルカメラなどの赤外線カメラフィルムなどの製造販売を中心に事業を営んでいる。なんでも、この赤外線カメラフィルムは赤外線の影響で全体に赤くならず、まさらしい。



本庄国際

リサーチパーク

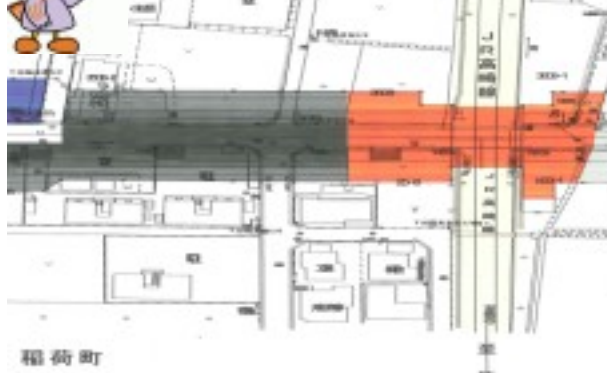
早稲田大学、埼玉県、本庄市などの協力のもと本庄国際リサーチパーク研究推進機構が設立されて以来、北関東の産学官連携拠点を目指した数々の取組がなされているが、今回は、本庄スマートエネルギープロジェクトや非接触給電装置の説明を受けた後、電動バスに試乗させていただいた。バッテリーなどまだまだ課題もあるようだが、環境への負荷は大いに軽減されるだろう。



鴻巣市 工事進捗状況のお知らせ No. 1

資料：北本岸土監視事務所

鴻巣川島線 (踏切工事)



鴻巣川島線(メガドンキ)わきの拡幅工事も地権者の皆さんや地域の皆さんのご協力・ご理解のもと大分進捗してきましたが、それだけにJR踏切部分の工事に関してはどうなっているのか?との問い合わせを頂きますが、今年度(平成23年度)中の工事実施が確認出来ました。まずは平面交差を道路拡幅のサイズに合わせるとのことでした。

行田蓮田線・笠原 (交差点整備)



笠原交差点の整備事業については、今年度は交差点中心部の工事と用地買収を同時に進めています。工事の予定はほぼ予定通り順調に進んでいるそうです。市東側の交通の要衝である笠原交差点ですが、今後も順調に進捗できますようにご協力をお願い致します。

加須鴻巣線 (笠原大橋)



笠原大橋の架け替え工事は、今年度中を予定していた仮橋の工事が若干の遅れを見せていましたが、6月をめどに進められることになりました。今のところ全体の完成予定である、26年度中の完成に影響は出ないようです。

子ども大学やま・ゆるま 平成23年12月3日(土)

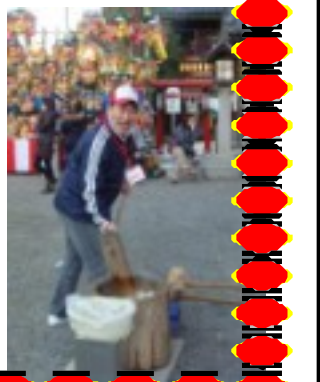
東京家政大学のキャンパスで開かれている第4日講義「論語を学ぼう!」を視察させていただいた。募集に応じた4~6年生を対象に全5日間で行なわれているものだ。64名の子どもたちが、講師の先生に引き込まれ、臨場感溢れる素晴らしい講義が展開されていて、私も生徒の一人になったようだった。

教育において、「師」と仰げる人と出会えるかどうかは大きな問題だと思う。埼玉に一人でも多くの「師」たる存在を増やして行かなければならない。



鴻神社 酉の市 平成23年12月4日(日)

昨年から実行委員会も組織して新しい形を模索し始めた。餅つきや富くじなど手作りながらいつもの新しい展開の中で、訪れてくれた人々も楽しそうに過ごしてくれていたように感じた。やっぱり、大勢の人々が集まって大きな賑わいが生まれている場所は、そこに居るだけでワクワクしてくる。急ごしらえの感も否めない部分もあったが、それを上回る充実感を覚えた。町を思う気持ちを忘れずに賑わいの創出をして行く。そんな気持ちをお持ちの皆さんで力を合わせて行かねば、鴻巣の発展など、有り様はずもない。



鴻巣市PTA連合会研究大会 平成23年12月17日(日)

テーマを「地域で子ども達の安心・安全を守るために、PTA・学校・地域がどう連携を図るか!」とした、赤見台第一小父親クラブ、富永町自治会長、共和小学校学校応援団などの学校としっかりと連携して活動して下さっている皆さんの事例を交えてのパネルディスカッションだったが、テーマを達成するためのヒントが多々あったように感じた。

久しぶりのPTA連合会の研究大会への出席だったが、我々の後を引き継ぎ頑張ってくれている皆さんの姿を拝見し頼もしく感じた。



報せふれあいのチャリティコンサート 平成23年12月17日(土)

びっくりひな祭りや市PTA連合会の頃からお世話になっている、本市出身の大谷(旧姓戸板)祥子さんの主宰する琴曲の祥韻会と尺八の朋游会のコラボレーションによるコンサートは、現代の土曜日の午後の一時を、悠久の歴史へと誘った。三味線や尺八、そして琴の音色によって、

「日本人(にっぽんじん)」であることを思い出し、あ~良かった。と思える時間をいただいた。まさに、忙中閑ありの素晴らしい一時だった。



新年賀詞交歓会 平成24年1月5日(水)

今年の知事、議長の挨拶に共通していたのは、「国家(政府)のガバナンスの低下は顕著であり、この難局を乗り切る力を埼玉から発信して行かなければならない。」という事だった。いよいよ、知事は持論である、「埼玉から日本を変える。」を実現する気持ちを強めているようである。我々議員も負けずに頑

張らなければならぬと強く強く思った。



豊かな埼玉をつくる県民の集い 平成24年1月6日(金)

私自身久々に出席したのは、現埼玉新聞社社長の小川秀樹氏が地元鴻巣(川里地区)の方で、年も私の2歳下という事もあり、色々とフランクに話させてもらえる関係だからだ。そして、あれだけの人々の前にもかかわらず、冒頭の挨拶も大変立派で、同じ鴻巣人として誇らしい思いだった。昨年の東日本大震災の教訓からも、災害発生時の地方メディア、とりわけ地方新聞の果たす役割

は大変大きい。社長のますますの活躍を期待している。



今までお伝えして参りました活動報告は、状況が繰り返されておりますので、今号から内容については抜粋してお伝えさせていただきます。

埼玉県議会 刷新の会 鴻巣支部
中屋敷慎一事務所
〒365-0039
鴻巣市東3-11-18-103
TEL 048-541-8110
FAX 048-541-0256
E-mail challenge@nakayashiki.net
県議会へのご意見、ご要望承っております

編集後記
新年を迎えるにあたり、いつも通り年末の30日には我が家恒例の杵と臼での餅つきをしました。心なしか一臼つきあげるのに息切れっぽくなってきたような気がして寂しさも感じましたが、やっぱり、杵つきの餅は美味しいですね。でも食べすぎには注意しないと大変なことになってしまいそうです。2月まで続く新年会の嵐を乗り越えつつ、2月議会の予算特別委員会質疑の準備を進めていこうと思えます。会派の人数が増えたおかげで今までより時間も確保できそうです。頑張るぞ!
慎一

